

日本生理人類学会 第 69 回大会プログラム

2013 年 10 月 26 日（土）－ 27 日（日）

同志社大学京田辺キャンパス



日本生理人類学会
Japan Society of Physiological Anthropology

ご挨拶

日本生理人類学会第 69 回大会
大会長 福岡義之

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、第 69 回大会を開催させていただき運びとなりました。

京都での開催は、1987 年に奈良女子大学名誉教授（故）登倉尋實先生が開催され、今回が 2 回目の開催となります。古都京都での 2 回目となる本大会を担当させていただくことは、大変光栄であると同時に重責に身の縮む思いであります。今回は 8 月 8 日から 10 日にカナダ・バンフで開催された第 11 回国際生理人類学会議の直後であるにもかかわらず、60 題を越える一般演題の申し込みを頂きました。

本大会では特別講演と 2 つのシンポジウムを企画いたしました。けいはんな研究学研都市の地の利をいかした企画としまして、まず奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科柴田 智広 先生に「適応的なロボットによるヒトの運動学習や生活機能の支援」と題して、ヒトの運動学習を適応的に支援するロボットと、着衣介助を代表とする介助を適応的に行うロボットの話をご講演いただきます。シンポジウム 1 では「ヒトの随意運動制御メカニズムの解明」（座長 青木 朋子 先生 熊本県立大学）として、歩行・走行、両手や多指の協調動作といった日常動作やスポーツ、楽器演奏等のスキルを要する動作まで、ヒトにおいて実施される様々な随意運動の制御メカニズムに関する知見を解説頂き、そこから、ヒトにとって快適な動作やヒューマンエラー等の応用についてご討論頂きます。シンポジウム 2 では「神経・筋の可塑性とリハビリテーション・スポーツ」（座長 中澤 公孝 先生 東京大学）として、運動習慣や運動課題の違いでみられる神経系の適応変化や筋肥大を引き起こすメカニズムなどに関する最新の研究成果を説明いただき、スポーツやリハビリテーションにおける神経・筋の可塑的变化の関わりについてご討論頂きます。脳神経科学と生理人類学の有機的な融合を探求することを本大会の大きなテーマと位置づけました。フロアからの活発な討論もお願いいたします。

古都京都、収穫の秋にふさわしい実り多い時間を過ごしていただけるようスタッフ一同努力いたしております。本大会の開催に関してご協力とご支援を賜りました全ての皆様に感謝申し上げます、開催の挨拶とさせていただきます。

協賛企業（五十音順）

有限会社アルコシステム	インタークロス株式会社
株式会社 ATR-Promotions	有限会社エスアンドエムイー
カーディオメディックス株式会社	花王株式会社
株式会社三笑堂	有限会社スキノス技研
ゼロシーセブン株式会社	株式会社デジタルメディック
株式会社トライテック	日機装サーモ株式会社
ニホンサンテック株式会社	株式会社日立製作所
株式会社フォーアシスト	富士医科産業株式会社
株式会社ベルテック・ジャパン	株式会社増田医科器械
株式会社ミユキ技研	有限会社メディカルトライシステム
株式会社メディリンク	

大会実行委員（五十音順）

海老根直之（同志社大学）	上林清孝（同志社大学）
稗田睦子（同志社大学）	若原卓（同志社大学）

歴代大会長および開催地

回数	会期	開催地	大会長	備考
第1回	1979年 2月	東京都	一彦 樽男 正行 郎	生理人類学懇話会
第2回	1979年 5月	東京都	敬方 武	
第3回	1979年 10月	東京都	田藤 弓村 池山 真太郎	
第4回	1980年 5月	東京都	安太 敬一 博	
第5回	1980年 11月	東京都	敬五 安和	
第6回	1981年 6月	東京都	邦 敬一 雨行子 郎	
第7回	1981年 9月	東京都	敬五 安和	
第8回	1982年 6月	東京都	正武 和方 道尋	
第9回	1982年 10月	東京都	弓削 本中 本賀 野北 松根 塚藤 池村 永島 山岡 田村 橋塚 本中 井崎 野鏝 本野 浦上 田柳 田藤 崎河 根崎 山丸 上永 原谷 池原	
第10回	1983年 6月	東京都	敬五 安和	生理人類学研究会
第11回	1983年 9月	東京都	敬五 安和	
第12回	1984年 5月	東京都	敬五 安和	
第13回	1984年 11月	東京都	敬五 安和	
第14回	1985年 5月	東京都	敬五 安和	
第15回	1985年 11月	東京都	敬五 安和	
第16回	1986年 5月	東京都	敬五 安和	
第17回	1986年 11月	東京都	敬五 安和	
第18回	1987年 5月	東京都	敬五 安和	
第19回	1987年 10月	東京都	敬五 安和	
第20回	1988年 5月	東京都	敬五 安和	生理人類学会
第21回	1988年 11月	東京都	敬五 安和	
第22回	1989年 5月	東京都	敬五 安和	
第23回	1989年 10月	東京都	敬五 安和	
第24回	1990年 6月	東京都	敬五 安和	
第25回	1990年 9月	東京都	敬五 安和	
第26回	1991年 6月	東京都	敬五 安和	
第27回	1991年 10月	東京都	敬五 安和	
第28回	1992年 6月	東京都	敬五 安和	
第29回	1992年 11月	東京都	敬五 安和	
第30回	1993年 6月	東京都	敬五 安和	
第31回	1993年 11月	東京都	敬五 安和	
第32回	1994年 6月	東京都	敬五 安和	日本生理人類学会
第33回	1994年 11月	東京都	敬五 安和	
第34回	1995年 6月	東京都	敬五 安和	
第35回	1995年 11月	東京都	敬五 安和	
第36回	1996年 6月	東京都	敬五 安和	
第37回	1997年 5月	東京都	敬五 安和	
第38回	1997年 9月	東京都	敬五 安和	
第39回	1998年 6月	東京都	敬五 安和	
第40回	1998年 11月	東京都	敬五 安和	
第41回	1999年 6月	東京都	敬五 安和	
第42回	1999年 10月	東京都	敬五 安和	
第43回	2000年 6月	東京都	敬五 安和	
第44回	2000年 11月	東京都	敬五 安和	
第45回	2001年 5月	東京都	敬五 安和	
第46回	2001年 10月	東京都	敬五 安和	
第47回	2002年 5月	東京都	敬五 安和	
第48回	2002年 11月	東京都	敬五 安和	
第49回	2003年 5月	東京都	敬五 安和	
第50回	2003年 10月	東京都	敬五 安和	
第51回	2004年 6月	東京都	敬五 安和	
第52回	2004年 10月	東京都	敬五 安和	
第53回	2005年 6月	東京都	敬五 安和	
第54回	2005年 10月	東京都	敬五 安和	
第55回	2006年 6月	東京都	敬五 安和	
第56回	2007年 6月	東京都	敬五 安和	
第57回	2007年 10月	東京都	敬五 安和	
第58回	2008年 6月	東京都	敬五 安和	
第59回	2008年 10月	東京都	敬五 安和	
第60回	2009年 9月	東京都	敬五 安和	
第61回	2009年 9月	東京都	敬五 安和	
第62回	2010年 5月	東京都	敬五 安和	
第63回	2010年 10月	東京都	敬五 安和	
第64回	2011年 6月	東京都	敬五 安和	
第65回	2011年 11月	東京都	敬五 安和	
第66回	2012年 5月	東京都	敬五 安和	
第67回	2012年 10月	東京都	敬五 安和	
第68回	2013年 6月	東京都	敬五 安和	

【お知らせ】

会場：同志社大学京田辺キャンパス
〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3

会期：2013年10月26日（土）、27日（日）

集会名：日本生理人類学会 第69回大会

主催：日本生理人類学会（大会長：福岡義之、事務局長：海老根直之）

共催：同志社大学スポーツ健康科学会

大会参加費：

9月27日（金）まで

正会員 7000 円、非会員 9000 円、学生（正会員/学生会員） 3000 円、学生（非会員） 4000 円

9月28日（土）以後

正会員 8000 円、非会員 10000 円、学生（正会員/学生会員） 4000 円、学生（非会員） 5000 円

懇親会費：

正会員 3000 円、非会員 4000 円、学生（正会員/学生会員/非会員） 1000 円

（懇親会にて、第68回大会（藤原 勝夫 大会長）における発表奨励賞の授賞式を行います）

一般口演の発表要領：

- ・発表 8 分、質疑応答 3 分です。7 分で 1 鈴、8 分で 2 鈴、11 分で 3 鈴を鳴らします。発表は時間厳守にてお願いします。
- ・Windows 7、PowerPoint 2010 により液晶プロジェクターで発表していただきます。発表用ファイルを USB メモリに入れて発表会場にお持ち下さい。発表者は発表されるセッションの開始 15 分前までに PC 受付にてコピーを済ませ、内容を確認して下さい。（26 日、27 日も 8 時 30 分から手続可能です）。

ポスターの発表要領：

- ・発表 3 分、質疑応答 2 分です。2 分で 1 鈴、3 分で 2 鈴、5 分で 3 鈴を鳴らします。
- ・演者はポスターの前で必ず待機願います（1 日目 16:55-17:55、2 日目 15:10-16:10）。
- ・ポスターは、A0 判の大きさ（横 84.1×縦 118.9cm）に収まるように掲示してください。
- ・演者は発表日の午前中にポスターを掲示してください。
- ・ポスターの回収はポスターセッション終了後に各自でお願いします。
- ・大会 1 日目、2 日目ともにセッションを 3 つのグループに分け、同時に発表を進めていきますので、ご注意ください。

大会 1 日目 (ポスターセッション 1 : 16:55~17:55)

	16:55-17:00	17:00-17:05	17:05-17:10	17:10-17:15	17:15-17:20	17:20-17:25	17:25-17:30
グループ 1	P1-1	P1-2	P1-3	P1-4	P1-5	P1-6	P1-7
グループ 2	P1-8	P1-9	P1-10	P1-11	P1-12	P1-13	
グループ 3	P1-14	P1-15	P1-16	P1-17	P1-18		

大会 2 日目 (ポスターセッション 2 : 15:10~16:10)

	15:10-15:15	15:15-15:20	15:20-15:25	15:25-15:30	15:30-15:35	15:35-15:40
グループ 1	P2-1	P2-2	P2-3	P2-4	P2-5	P2-6
グループ 2	P2-7	P2-8	P2-9	P2-10	P2-11	P2-12
グループ 3	P2-13	P2-14	P2-15	P2-16	P2-17	

グループ発表終了後の残り時間は自由討論となります。

発表抄録の著作権 :

本大会要旨集に掲載された抄録の著作権は、発表者に帰属します。

【大会日程】

大会前日		10月25日(金)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	恵道館 KD301	ラウンジ棟 201
15:00-18:00					ジョイントセミナー 【日本生理人類学会 若手の会・ 同志社大学スポーツ 健康科学会】	理事会
18:00-19:00						国際シンポジウム 企画会議

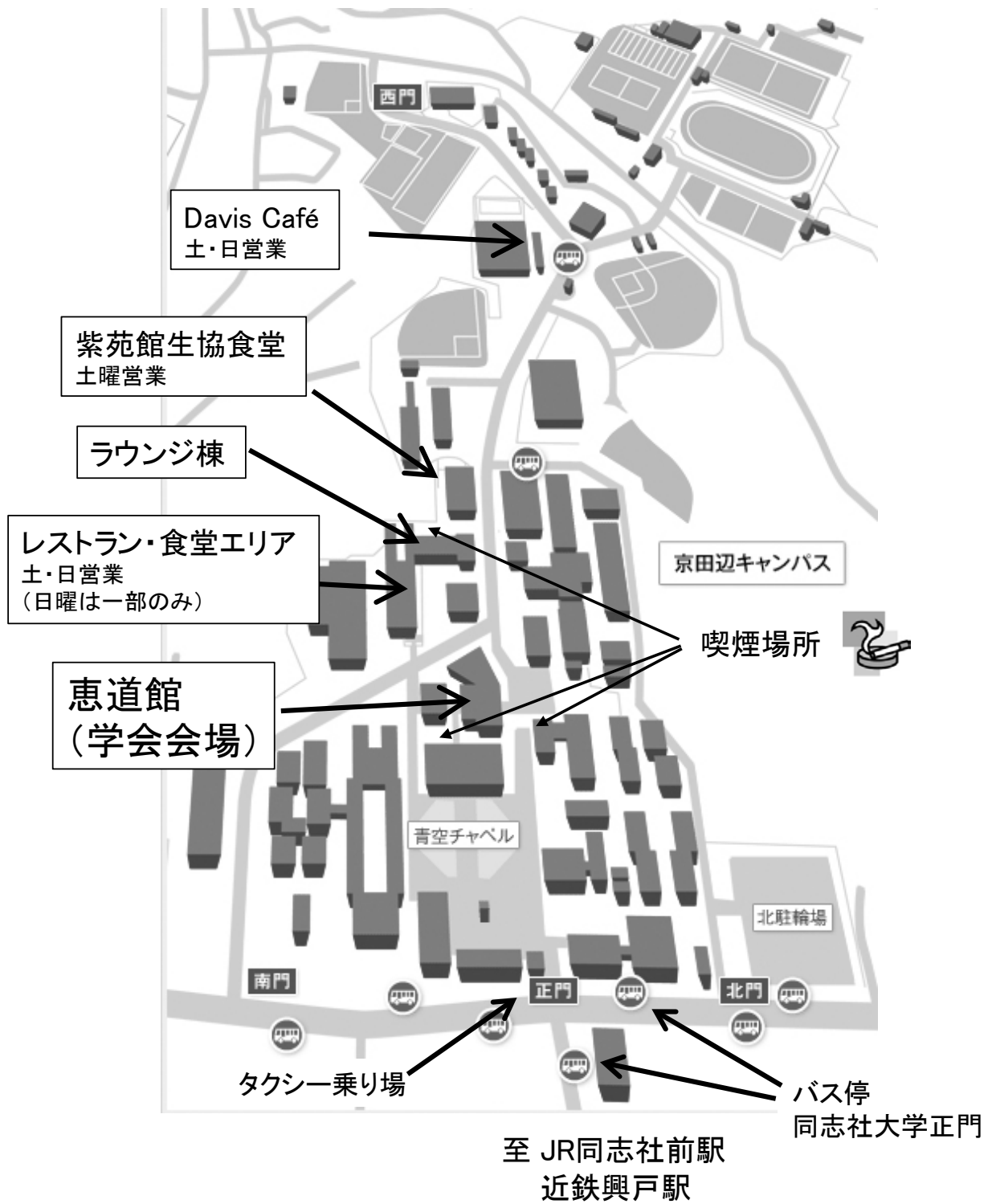
大会1日目		10月26日(土)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	恵道館 KD203	
8:30-						
9:25-9:30		開会				
9:30-10:20		一般口演セッション1 O1-1~4				
10:20-11:10		一般口演セッション2 O1-5~8				
11:20-12:20		特別講演				
12:20-13:30	受付	昼休み	1日目 ポスター掲示	機器展示	評議員会	
13:30-15:30		シンポジウム1				
15:45-16:45		一般口演セッション3 O1-9~13				
16:55-17:55			ポスターセッション1 P1-1~18			
18:15-20:15					懇親会	

奈良交通バス(新田辺駅 行)
同志社大学正門 バス停
20:33、21:03、21:31

大会2日目		10月27日(日)				
	恵道館 2階ロビー	恵道館 KD201	恵道館 KD204	恵道館 KD202	ラウンジ棟 202	ラウンジ棟 207
8:30-						
9:15-10:05		一般口演セッション4 O2-1~4				
10:05-10:55		一般口演セッション5 O2-5~8				
11:05-11:45		総会				
11:45-13:00	受付	昼休み	2日目 ポスター掲示	機器展示	資格認定会議	研究部会 代表者会議
13:00-15:00		シンポジウム2				
15:10-16:10			ポスターセッション2 P2-1~17			
16:20-17:20		一般口演セッション6 O2-9~13				
17:20		閉会				

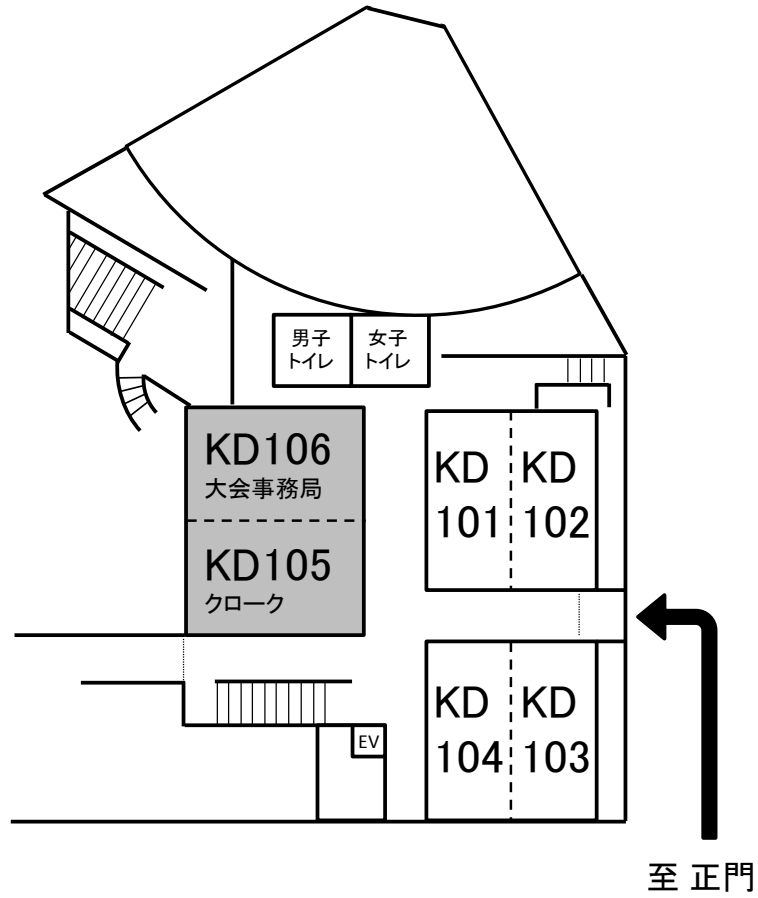
関連会議	日程	会場
1) 理事会	10月25日(金) 15:00~18:00	ラウンジ棟 201
2) ジョイントセミナー (日本生理人類学会若手の会・同志社大学スポーツ健康科学会)	10月25日(金) 15:00~18:00	恵道館 KD301
3) 国際シンポジウム企画会議	10月25日(金) 18:00~19:00	ラウンジ棟 201
4) 評議員会	10月26日(土) 12:20~13:30	恵道館 KD203
5) 総会	10月27日(日) 11:05~11:45	恵道館 KD201
6) 資格認定会議	10月27日(日) 11:45~13:00	ラウンジ棟 202
7) 研究部会代表者会議	10月27日(日) 11:45~13:00	ラウンジ棟 207

【会場案内図】

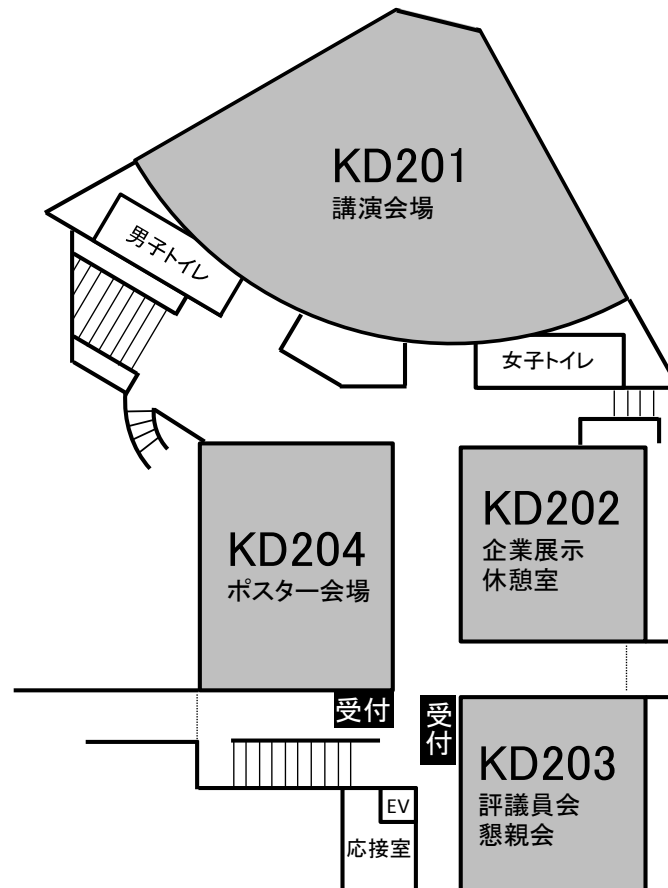


【恵道館（大会会場） 1・2階】

1階



2階



【プログラム】

大会 1 日目 10 月 26 日 (土)

開会 9:25

一般口演セッション 1

9:30~10:20

恵道館 KD201

座長 : 小谷賢太郎 (関西大学)

O1-1 鉄道車両の乗り物酔いに関する一研究

- 大野央人¹
¹鉄道総合技術研究所人間工学研究室

O1-2 ステアリング模擬操作への微小振動付与の効果
-第3報 片手によるグリップ回転デバイスでの検討-

- 向江秀之¹, 安河内朗²
¹(株)豊田中央研究所車両構造研究室
²九州大学大学院芸術工学府

O1-3 自動二輪車運転時における眼球運動特性

- 水内淳¹, 石井雅己¹, 浦宏¹, 山中仁寛¹, 茅原崇徳¹, 森島圭祐², 大本浩司²
¹首都大学東京システムデザイン研究科
²ヤマハ発動機株式会社

O1-4 短時間の軽作業に適した筋電図解析手法の検討

- 豊泉深秋¹, 池山和幸², 下村義弘¹, 勝浦哲夫¹
¹千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻
²(株)資生堂

一般口演セッション 2

10:20~11:10

恵道館 KD201

座長 : 樋口重和 (九州大学)

O1-5 ヒト光受容体の発達と早産児の睡眠・身体発達を促す光環境の開発

- 太田英伸¹, 渡辺真平², 秋山志津子³, 埴田卓志³, 李コウ¹, 中川真智子⁴, 兼次洋介⁵, 樋口重和⁶, Japan RED filter study group⁷
¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
²神奈川県立こども医療センター新生児科
³東北大学病院周産母子センター
⁴聖路加国際病院小児科
⁵北海道大学病院周産母子センター
⁶九州大学大学院芸術工学研究院
⁷北海道大学病院, 東北大学病院, 宮城県立こども病院, 東北大学, 宇都宮大学, 東京医科歯科大学附属病院, 国立精神・神経医療研究センター, 神奈川県立こども医療センター, 名古屋大学附属病院, 京都大学附属病院, 国立循環器病研究センター, 大阪大学附属病院, アトムメディカル(株), (株)ルケオ

O1-6 就寝前記憶課題実施時の照明光が睡眠および記憶課題成績に与える影響

- 高倉潤也¹, 荒田俊彦², 久保川彩花², 小崎智照³, 金子敏充¹
¹株式会社東芝研究開発センター
²九州大学大学院芸術工学府
³九州大学大学院芸術工学研究院

O1-7 一晩の部分断眠は午後の暑熱負担を増悪させる
○ 時澤健, 田井鉄男, 呂健, 安田彰典, 岡龍雄, 高橋正也, 澤田晋一
独立行政法人労働安全衛生総合研究所

O1-8 睡眠段階が呼吸と心拍のカップリングに及ぼす影響について
○ 東風谷祐子¹, 疋田あかり², 大橋絵里子³, 市丸雄平²
¹東京家政大学大学院家政学研究科博士課程人間生活学専攻
²東京家政大学臨床栄養情報研究室
³東京家政大学大学院家政学研究科修士課程健康栄養学専攻

休憩 11:10~11:20

特別講演 11:20~12:20 恵道館 KD201

座長 : 工藤奨 (九州大学)

「適応的なロボットによるヒトの運動学習や生活機能の支援」

柴田 智広 先生 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科)

昼休み 12:20~13:30

シンポジウム 1 13:30~15:30 恵道館 KD201

「ヒトの随意運動制御メカニズムの解明」

司会 : 青木朋子 (熊本県立大学)

シンポジスト

樋口貴広 (首都大学東京人間健康科学研究科)

「随意運動の知覚運動制御 : 移動行動の予期的制御」

藤井進也 (トロント大学サニーブルックヘルスサイエンスセンター/日本学術振興会海外特別研究員)

「音楽家の身体運動制御」

青木朋子 (熊本県立大学環境共生学部食健康科学科)

「個々の指の随意運動制御」

荒牧勇 (中京大学スポーツ科学部)

「両手同時操作の運動制御」

休憩 15:30~15:45

座長 : 井上芳光 (大阪国際大学)

O1-9 圧迫負荷時の寒冷誘発血管拡張反応

○ 岸野慎太郎¹, 前田享史², 竹中基裕¹, 若山凌³

¹北海道大学大学院工学院

²北海道大学大学院工学研究院

³北海道大学工学部環境社会工学科衛生環境工学コース

O1-10 寒冷曝露時の熱産生反応の個人差とその影響要因について

○ 鷹野翔一¹, 前田享史², 櫻井大樹¹

¹北海道大学大学院工学院環境人間工学研究室

²北海道大学大学院工学研究院環境人間工学研究室

O1-11 原発関連復旧作業時の暑熱負担軽減方策としての事前冷却手技の有用性(第二報): 事前風冷手技の検討

○ 澤田晋一¹, 時澤健¹, 安田彰典¹, 岡龍雄¹, 田井鉄男¹, 井田浩文², 中山和美², 三宅康史³, 神田潤³, 萩原祥弘³, 檜村洋次郎³

¹(独)労働安全衛生総合研究所

²東京電力(株)

³昭和大学医学部救急医学講座

O1-12 高齢者におけるスポーツ活動時の血栓形成関連因子の動態

○ 石指宏通¹, 井上芳光²

¹奈良県立医科大学

²大阪国際大学

O1-13 皮膚温度感受性の加齢的变化: 20~96歳を対象として

○ 井上芳光¹, 戸谷真理子¹, 村田夏紀¹, 一之瀬智子¹, 上田博之²

¹大阪国際大学

²大阪信愛女学院短期大学

休憩 16:45~16:55

16:55~17:30 グループ 1

座長 : 小崎智照 (九州大学)

P1-1 瞳孔対光反射の分光感度に見られた新規光受容器の影響

○ 高橋良香, 勝浦哲夫, 岩永光一, 下村義弘

千葉大学大学院工学研究科

P1-2 異なる色光による生理・心理反応の多様性

○ 原田和樹¹, 落合将太郎², 張亦馳¹, 李相逸¹, 樋口重和³

¹九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻

²九州大学芸術工学部工業設計学科

³九州大学大学院芸術工学研究院デザイン人間科学部門

- P1-3** 青色相を背景色にした VDT 陰画表示画面が生理反応と作業効率に及ぼす影響
 ○ 片山徹也¹, 庄山茂子², 栢原裕³
¹長崎ウエスレヤン大学
²長崎県立大学大学院
³放送大学, 九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-4** 森林視覚刺激が生理および心理指標に及ぼす影響 - 同一森林内での比較検討 -
 ○ 堀内雅弘¹, 遠藤淳子¹, 高山範理², 村瀬一隆³, 西山教雄³, 齋藤暖生³, 藤原章雄³
¹山梨県環境科学研究所環境生理学研究室
²独立行政法人森林総合研究所環境計画学研究室
³東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
- P1-5** 野生ルイボスの香り成分とストレス緩和効果
 ○ 山口静枝¹, 松本明日香¹, 廣瀬良樹²
¹大阪青山大学健康科学部
²元大阪青山大学健康科学部
- P1-6** 安静時における心拍を基準としたテンポのリズム音聴取が心理・生理的反応に与える影響
 ○ 宮城舜¹, 鷺塚愛¹, 足利さくら², 田井村明博³
¹長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士前期課程環境保全設計学専攻
²長崎大学環境科学部保全設計コース
³長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
- P1-7** 健康づくりのための身体活動基準 2013 に基づいた身体活動時の心拍および加速度の特性について
 ○ 疋田あかり, 大橋絵里子, 東風谷祐子, 市丸雄平
 東京家政大学臨床栄養情報研究室

16:55~17:25 グループ 2

座長 : 若村智子 (京都大学)

- P1-8** 発話音声と注意および覚醒水準の関連性に関する検討 (3)
 ○ 立川公子¹, 塩見格一², 橋本修左¹
¹武蔵野大学
²電子航法研究所
- P1-9** バイノーラルビートがヒトの覚醒度や反応時間に及ぼす影響
 ○ 巖偉, 下村義弘, 勝浦哲夫
 千葉大学工学研究科デザイン科学専攻人間生活工学研究室
- P1-10** メラノプシン遺伝子多型 (I394T) と睡眠習慣の関係
 ○ 李相逸¹, 肥田昌子², 北村真吾², 稲見香³, 三島和夫², 樋口重和⁴
¹九州大学大学院統合新領域学府
²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
³福岡女子大学人間環境学部
⁴九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-11** 若年者の睡眠習慣と肥満リスクに関する基礎的研究
 ○ 中崎恭子, 北村真吾, 元村祐貴, 肥田昌子, 三島和夫
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部

- P1-12** 離島住民を対象とした TG-HDL 比で分類した糖尿病と血清 γ -GTP 値との関係
- 小屋松淳¹, 清水悠路², 佐藤晋平², 門田耕一郎², 中里未央¹, 玉井慎美³, 有馬和彦⁴, 山崎浩則⁵, 高村昇⁶, 青柳潔⁴, 前田隆浩^{1,2}
- ¹長崎大学大学院離島・へき地医療学講座
²長崎大学大学院地域医療学分野
³長崎大学大学院リウマチ免疫病態制御学
⁴長崎大学大学院公衆衛生学分野
⁵長崎大学保健・医療推進センター
⁶長崎大学大学院国際保健医療福祉学研究分野

- P1-13** 食事制限によるストレス耐性の増強 - アミノ酸の影響 -
- 河野比良夫¹, 甲田勝康², 中村晴信³, 菌田精昭¹
- ¹関西医科大学衛生学教室
²近畿大学医学部公衆衛生学教室
³神戸大学大学院人間発達環境学研究科

16:55~17:20 グループ 3

座長 : 西村貴孝 (長崎大学)

- P1-14** 閉所環境が主観評価と P300 へ与える影響
- 関谷崇寛¹, 樺田正樹¹, 松本吏子², 江頭優佳², 崔多美², 本井碧², 西村貴孝³, 綿貫茂喜⁴
- ¹九州大学芸術工学部
²九州大学大学院統合新領域学府
³長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
⁴九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-15** 湿度環境の変化が P300 に及ぼす影響
- 堀夏子¹, 江頭優佳², 松本吏子², 本井碧³, 崔多美², 高倉潤也², 西村貴孝⁴, 綿貫茂喜⁵
- ¹九州大学芸術工学部
²九州大学大学院統合新領域学府
³九州大学大学院統合新領域学府, 日本学術振興会特別研究員 DC
⁴長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
⁵九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-16** 文字刺激に対する N400 の反応に感情プライミングが及ぼす影響
- 樺田正樹¹, 江頭優佳², 松本吏子², 本井碧³, 崔多美², 関谷崇寛¹, 西村貴孝⁴, 綿貫茂喜⁵
- ¹九州大学芸術工学部
²九州大学大学院統合新領域学府
³九州大学大学院統合新領域学府, 日本学術振興会特別研究員 DC
⁴長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
⁵九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-17** ターゲット刺激に対する注意反応 : ERP 研究
- 崔多美¹, 綿貫茂喜²
- ¹九州大学大学院統合新領域学府
²九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-18** 祇園囃子太鼓方演奏時の視線行動
- 山田勝真¹, 大桐将¹, 古川貴士¹, 成田智恵子¹, 後藤彰彦², 来田宣幸¹
- ¹京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
²大阪産業大学デザイン工学部情報システム学科

大会 2 日目 10 月 27 日 (日)

一般口演セッション 4

9:15~10:05

恵道館 KD201

座長 : 仲村匡司 (京都大学)

- O2-1** 日帰り型森林セラピーがもたらす生理的影響 -8 実験地・96 名の結果から-
○ 池井晴美¹, 宋チョロン¹, 恒次祐子², 森川岳², 香川隆英², 宮崎良文¹
¹千葉大学環境健康フィールド科学センター
²(独) 森林総合研究所
- O2-2** 森林セラピー・社会人プログラムにおける主観的効果
○ 小泉春佳¹, 池井晴美¹, 宋チョロン¹, 高橋隆宜¹, 上月光則², 寺谷誠一郎², 佐久間高広³, 宮崎良文¹
¹千葉大学環境健康フィールド科学センター
²鳥取県智頭町
³株式会社 LASSIC
- O2-3** 衣服内気流に関する基礎的研究
○ 山崎和彦¹, 小笠原寧¹, 三上祐里瑛¹, 大久保千穂¹, 前田亜紀子²
¹実践女子大学生生活科学部
²群馬大学教育学部
- O2-4** 風雨の体温調節に及ぼす影響
○ 前田亜紀子¹, 荻原瞳², 鳥山菜穂², 大久保千穂², 山崎和彦²
¹群馬大学教育学部
²実践女子大学生生活科学部

一般口演セッション 5

10:05~10:55

恵道館 KD201

座長 : 草野洋介 (国立病院機構長崎病院)

- O2-5** 離島住民を対象にした高尿酸血症と身長及び肥満度 (BMI) の関係
○ 清水悠路¹, 中里未央², 関田孝晴², 門田耕一郎¹, 有馬和彦³, 山崎浩則³, 高村昇⁴, 青柳潔⁵, 前田隆浩^{1,2}
¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野
²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座
³長崎大学保健・医療推進センター
⁴長崎大学大学院医歯薬学総合研究科国際保健医療福祉学研究分野
⁵長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野
- O2-6** 春季における都市公園歩行がもたらす生理的影響
○ 宋チョロン, 池井晴美, 高橋隆宜, 五十嵐美穂, 三輪正幸, 高垣美智子, 宮崎良文
千葉大学環境健康フィールド科学センター
- O2-7** 日常身体活動の質および量と健康評価関連因子との関わり
○ 木村靖夫¹, 大木和子², 清水史子³, 久富守¹, 中川直樹⁴, 池上寿伸⁵
¹Fitness & Health Sciences 研究所
²昭和女子大学生生活機構研究科
³昭和女子大学生生活科学部
⁴産業能率大学・情報マネジメント学部
⁵佐賀大学文化教育学部

O2-8 朝食でのミルク摂取や食事での柚子使用が幼児や大学生の概日タイプ及び精神衛生に及ぼす影響

○ 原田哲夫¹, 和田快¹, 川崎貴世子¹, ミラダ=クレイチ^{2,3}, 野地照樹⁴, 中出美代⁵, 渡部嘉哉⁶, 溝渕俊二⁶, 竹内日登美¹

¹高知大学大学院総合人間自然科学研究科環境生理学教室

²パレストラ大学体育学部

³南ボヘミア大学教育学部

⁴高知大学大学院総合人間自然科学研究科保健体育教室

⁵東海学園大学健康栄養学部

⁶高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学系看護科学ユニット

休憩 10:55～11:05

総会 11:05～11:45

昼休み 11:45～13:00

シンポジウム 2 13:00～15:00 恵道館 KD201

「神経・筋の可塑性とリハビリテーション・スポーツ」

司会：中澤 公孝（東京大学）

シンポジスト

牛山潤一（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

「筋出力の精密制御能を規定する皮質-筋システムの同期的神経活動

- その個人差およびスポーツ競技歴による可塑的变化 -」

伊藤尚基（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

「骨格筋神経型一酸化窒素合成酵素により誘起される Ca^{2+} シグナルが筋肥大を促進する」

小川哲也（早稲田大学スポーツ科学学術院）

「運動特性を反映した中枢神経系の適応変化」

中澤公孝（東京大学大学院総合文化研究科）

「神経の可塑性と脊髄損傷のリハビリテーション」

休憩 15:00～15:10

ポスターセッション 2 15:10～16:10 恵道館 KD204

15:10～15:40 グループ 1

座長：石橋圭太（千葉大学）

P2-1 椅座位作業に対応した電子制御型下半身陽圧陰圧負荷装置の製作

○ 石橋圭太, 大高雅貴, 吉田尚央, 岩永光一

千葉大学大学院工学研究科

- P2-2** 正弦波下半身陰圧負荷が中大脳動脈血流速度に及ぼす影響
○ 岩永光一, 大高雅貴, 吉田尚央, 石橋圭太
千葉大学大学院工学研究科
- P2-3** 呼吸規則性定量化指標の時間変動特性
○ 不破輝彦¹, 隈井省吾²
¹職業能力開発総合大学校能力開発院
²職業能力開発総合大学校機械システム工学科
- P2-4** 仰臥位の一定中強度長時間運動における心拍ドリフトの要因
○ 連長順¹, 有光琢磨², 山中亮², アフルンデロガイエ¹, 白川和希¹, 柚木孝敬¹, 矢野徳郎¹
¹北海道大学
²国立スポーツ科学センター
- P2-5** 代謝量評価における安静維持課題の検討
○ 石原達朗¹, 宮本明奈¹, 藤嶋将隆¹, 山本満², 中江悟司³, 海老根直之¹
¹同志社大学スポーツ健康科学部
²同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科
³独立行政法人国立健康・栄養研究所
- P2-6** ニュータウン居住高齢者の身体活動量の違いが生活機能に及ぼす影響
○ 高井逸史¹, 杉山正晃², 生田英輔², 岡崎和伸³, 森一彦²
¹大阪物療大学保健医療学部
²大阪市立大学大学院生活科学研究科
³大阪市立大学都市・健康スポーツ研究センター

15:10~15:40 グループ2

座長 : 前田享史 (北海道大学)

- P2-7** 身体局所冷却の生理反応の個人差及びその影響要因について
○ 奥山祐輝¹, 高橋涼¹, 山口秀明³, 前田享史²
¹北海道大学大学院工学院環境人間工学研究室
²北海道大学大学院工学研究院環境人間工学研究室
³株式会社アイシン・コスモス研究所
- P2-8** 局所寒冷血管拡張反応からみた寒冷耐性と温度感覚の関連性の検討
○ 足利さくら¹, 本村麻衣子¹, 鷲塚愛², 宮城舜², 田井村明博²
¹長崎大学環境科学部環境保全設計コース
²長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
- P2-9** 寒冷曝露時における主観的温冷感と産熱反応の関係及びその季節変動
○ 西村貴孝¹, 本井碧^{2,3}, 江頭優佳², 崔多美², 松本吏子², 草野洋介⁴, 綿貫茂喜⁵, 青柳潔¹
¹長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
²九州大学大学院統合新領域学府
³日本学術振興会特別研究員 DC
⁴国立病院機構長崎病院
⁵九州大学大学院芸術工学研究院
- P2-10** 熱中症対策の冷却法の検討
○ 田井鉄男¹, 澤田晋一¹, 岡龍雄¹, 安田彰典¹, 中山和美², 井田浩文², 下田朋彦²
¹(独立行政法人)労働安全衛生総合研究所
²東京電力株式会社技術開発研究所

- P2-11** 昼食のエネルギー制限が脂質代謝及び作業効率に及ぼす影響
○ 鷲塚愛¹, 宮城舜¹, 足利さくら², 田井村明博³
¹長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士前期課程環境保全設計学専攻
²長崎大学環境科学部環境保全設計コース
³長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

- P2-12** 無機塩含有炭酸ガス浴がトップアスリートの疲労回復に及ぼす影響
— 香りの有無による睡眠・疲労回復への影響 —
○ 鳥居和樹¹, 児島康司¹, 荘司博行¹, 石澤太市¹, 綱川光男¹, 松浦倫子²,
安達直美², 有富良二², 荒川雅志³, 田中秀樹⁴
¹株式会社バスクリン製品開発部
²株式会社エス アンド エー アソシエーツ
³琉球大学観光産業科学部観光科学研究科
⁴広島国際大学心理科学部臨床心理学科

15:10~15:35 グループ3

座長 : 安陪大治郎 (九州産業大学)

- P2-13** 随意呼吸によって膝伸展筋の皮質脊髄路興奮性は増大する
○ 白川和希¹, 柚木孝敬², 松浦亮太³, 大塚吉則², 連長順¹, ログアイエ・アフルンデ¹,
矢野徳郎²
¹北海道大学大学院教育学院
²北海道大学大学院教育学研究院人間発達科学分野
³上越教育大学大学院学校教育研究科

- P2-14** 主動筋と拮抗筋の同時収縮がその後の筋活動電位に与える影響
○ 升佑二郎¹, 小井詰喜希¹, 藤野和樹², 村松憲¹, 山本泰宏¹
¹健康科学大学理学療法学科
²千葉商科大学商学部

- P2-15** ウェイトトレーニングの補助動作が上肢筋活動に及ぼす影響
○ 上村孝司¹, 幕田純², 迎綱治²
¹東京福祉大学社会福祉学部
²グローバルメディカル研究所株式会社

- P2-16** バドミントン競技におけるサービスストロークの筋電図学的分析
○ 藤野和樹¹, 上村孝司², 升佑二郎³
¹千葉商科大学商経学部
²東京福祉大学社会福祉学部
³健康科学大学健康科学部

- P2-17** 間欠的低酸素暴露下における中枢性呼吸調節の身体トレーニングの影響
○ 小又亮¹, 堀田明日香¹, 中村由紀², 福岡義之²
¹同志社大学スポーツ健康科学部
²同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科

休憩 16:10~16:20

座長 : 原田一 (東北工業大学)

O2-9 無意識下の表情の知覚と同調的表情表出

- 高橋佳佑¹, 下村義弘, 勝浦哲夫
千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻人間生活工学研究室

O2-10 性格特性が ERP と印象評価に与える影響

- 本井碧^{1,4}, 江頭優佳¹, 松本吏子¹, 高倉潤也¹, 崔多美¹, 西村貴孝², 綿貫茂喜³
¹九州大学大学院統合新領域学府
²長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
³九州大学大学院芸術工学研究院
⁴日本学術振興会特別研究員 DC

O2-11 湿度に対する印象がオノマトペの認知過程に及ぼす影響

- 江頭優佳¹, 堀夏子², 松本吏子¹, 本井碧^{1,3}, 崔多美¹, 高倉潤也¹, 西村貴孝⁴, 綿貫茂喜⁵
¹九州大学大学院統合新領域学府
²九州大学芸術工学部工業設計学科
³日本学術振興会特別研究員 DC
⁴長崎大学大学院医歯薬総合研究科
⁵九州大学芸術工学研究院

O2-12 種々の心理特性値と起床時のコルチゾール濃度および反応との関係

- 松本吏子¹, 西村貴孝², 本井碧^{1,3}, 江頭優佳¹, 崔多美¹, 綿貫茂喜⁴
¹九州大学統合新領域学府
²長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野
³日本学術振興会特別研究員 DC
⁴九州大学大学院芸術工学研究院

O2-13 集団凝集性の違いが共感に関連する脳活動に及ぼす影響

- 富原浩貴¹, 赤島健太², 林小百合², 本井碧^{1,3}, 樋口重和⁴, キムヨンキュ⁴
¹九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻
²九州大学芸術工学部工業設計学科
³日本学術振興会特別研究員 DC
⁴九州大学大学院芸術工学研究院デザイン人間科学部門

閉会 17:20